

対話から組織の一体感を創り出す

ワールドカフェ・チームビルディング

「体験をメタファーにして、共通の土台の上で対話をする」

企業の組織変革やビジョン作成、都市開発のプロジェクトなどに「ワールドカフェ」や「オープンスペーステクノロジー」と呼ばれる対話の手法が注目されるようになってきました。

そのような対話を組織で行う際にはこんな悩み事が出てきます。
 「強制的に参加させられているという意識があり、参加意欲が低い。」
 「古い習慣、雰囲気から、上司のプレッシャーを感じるような場となってしまう。」

このプログラムでは、チームビルディングで使われるアクティビティで参加者が共通の体験をした後に対話を行います。アクティビティを行ったときに感じた感情や、一体感をメタファー（暗喩）とすることで、普段会話がすれ違ってしまいう関係でも深い対話につながります。



こんな状況の時に／こんな目的で

■会社全体の一体感を高め、コミュニケーション向上に

それなりに雑談はあるが、他部署のことは見えず、コミュニケーショントラブルがよくある。会社全体で一つの組織であると感じさせたい。

■プロジェクト、新組織のキックオフに

プロジェクト、新組織のメンバー同士と一体感を感じさせたい。モチベーションを高め、参加者が自発的に行動する雰囲気を作りたい。

対象者 管理職／リーダー、部署全体、
新入社員、中堅社員

人数 16～50人

会場 研修室、バンケット、アリーナなど

時間 3.5時間～1日

手法

- アクティビティを用いた体験学習の手法と、ワールドカフェなどの対話の手法。
- 熟練のファシリテーターによる、刻々と変化する参加者の意識にあわせた「問いかけ」から創られる対話。

ワールドカフェとは

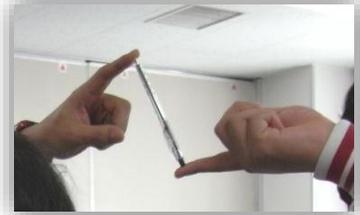
「会議室での話し合いより、カフェで盛り上がったときの会話のほうが次々とアイデアが生まれた。」
 そんなところから生まれた創造的な話し合いを生み出す対話の手法。4人ほど座れる机を会場中にたくさん作り、その中で移動を繰り返しながら話し合う。終わった後には会場にいる全員と話したような一体感が生まれ、次の新しい行動やビジョンの源泉となることもある。現在では、住民参加型の都市計画、企業やNPOの共有ビジョン醸成、組織変革の分野で取り入れられている。

プログラム進行例

時間	内容
10:00 (50分)	導入・アイスブレイク 受講生同士の距離、受講生とファシリテーターの距離を近づける。次の課題にいくためのウォーミングアップを行う。
10:50 (40分)	アクティビティ ペンあやとり コミュニケーションを取って初めて達成できる課題に挑戦する。
11:30 (60分)	アクティビティ パイプライン 体を動かしてチームでアイデアを出しながら無理だと思っていた課題を達成する経験をする。
12:30 (60分)	ランチブレイク
13:30 (60分)	リフレクション（振り返り） アクティビティの中で感じたことを振り返り、学びをチームで共有する。
14:30 (10分)	休憩・レイアウト変更
14:40 (140分)	ワールドカフェ形式での話し合い 一日で感じたことと日常のつながりを考える。 1テーブル4～5人。1ラウンド30分で3ラウンド。
17:00 (60分)	全体のまとめ 一日で感じたり気づいたりしたことを参加者同士で共有し、次の日の行動指針などをまとめる。
18:00	終了

ペンあやとり

全員で内向きの輪になり、隣の人と人差し指1本ずつでペンを支える。ペンを落とさないように外向きの輪になるなど、目標の形に隊形を組みかえる。チーム全員で作戦を立て、コミュニケーションを取って初めて達成できるアクティビティ。



パイプライン

指定された道具だけを使って、小さな玉を最初の人から最後の人まで順に送っていく。自分たちでより精度高く、短時間で成果を出せるように改善を重ねる。



※アクティビティとリフレクションの内容はヒアリングを元に調整して実施します。
※より効果を上げるため、参加者の達成状況などに合わせ、時間配分、実施アクティビティをプログラム実施中に変化させることがあります。

参加された皆様の声

- 体験学習とワールドカフェのコンビネーションがとても効果的だということが分かりました。体験学習の振り返りの所をワールドカフェ方式で行うと、全員が気持ちをしっかりと話し切ることができるということが実感できました。
- グループワーク、実習が多いセミナーは「チーム感」が共有できてから行くと非常に効果が高い。
- チームとして一体感があつたので、ワールドカフェでの発案、発言がスムーズだった。
- ワールドカフェで話が途切れることなく意見が出てきた。経験値が異なるメンバーでも共有できる感情と共通の話題が持てた。
- 達成感の共有は、様々なコミュニケーションの壁を取り払う可能性が高い！

お問合せ先

 Team Building Japan

チームビルディング

検索

株式会社チームビルディングジャパン 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-11-16 さいかち坂ビル403

■電話番号 03-5577-3938 ■URL <http://www.teambuildingjapan.com/> ■E-Mail tbj@teambuildingjapan.com